

# 企業理念

## FUJITSU GENERAL Way

FUJITSU GENERAL Way は、私たち富士通ゼネラルグループが持続的に発展する上で、土台となる基本指針であり、当社が目指すべき姿と、お客様と社会のために果たすべき使命、存在価値を表すものです。

また、富士通ゼネラルグループで働くすべての人が行動する上で、判断の拠り所となる羅針盤です。

私たちは、企業理念に掲げたミッションを達成するための行動を実践し、事業を通じて、快適・健康・安心・安全な社会の実現、その先にあるいのちを見つめ、世界中の人々と共に未来を切り拓いてまいります。

## FUJITSU GENERAL Way の体系

FUJITSU GENERAL Way は企業理念、行動規範の二層から成り立っています。



## FUJITSU GENERAL Way

### 企業理念

#### Our Mission

私たち、富士通ゼネラルグループが目指すべき姿を宣言したものです。

#### - 共に未来を生きる -

私たちは革新的なモノづくりを通じて、世界中のお客様と社会のために、安らぎに満ちた、今日にない明日を届けます。

#### Our Philosophy

Our Mission を実現するために、私たちが大切にしている考え方を示したものです。

#### 自発的に取り組みます

私たちは、自己成長のための努力を惜みず、たゆまぬ創意工夫と先見力で、自ら新しい事に挑戦します。

#### 人を思い活かします

私たちは人を思いやり、異なる文化と多様性を活かし、協調と対話を通じて、人の可能性を最大化します。

#### 誠実さを大切にします

私たちは、誠実さを旨とし、常に高い倫理観を持って、人として正しい道を歩みます。

### 行動規範

富士通ゼネラルグループの社員として厳守すべきことを表したものです。

- 人権を尊重します
- 法令を遵守します
- 公正な商取引を行います
- 知的財産を守り尊重します
- 機密を保持します
- 業務上の立場を私的に利用しません

## TOPメッセージ



「サステナブル経営」の推進を加速させ、  
「ブランディング活動強化」「真のグローバル企業への脱皮」  
「自発的なキャリア形成と学び」などの  
新たな活動や施策により「企業文化変革」を実現し、  
「地球環境や社会への貢献」を目指します。

株式会社富士通ゼネラル  
代表取締役社長 経営執行役社長

吉野 雄一郎

### 新型コロナウイルス感染拡大で変わりゆく世界と富士通ゼネラルグループ

現在、世界的に地球環境への関心がかつてないほどの高まりを見せており、各国で脱炭素への取り組みが加速しています。

また、数年にわたる新型コロナウイルス蔓延の影響で、巣ごもりにより空調機器の需要が拡大するとともに、清潔・除菌のニーズがこれまで以上に増しており、富士通ゼネラルグループの主力事業である空調機部門で培ったヒートポンプ技術を活用した空調機器は、これらの課題・ニーズに応える製品として今後ますますの成長が期待されます。

一方で、半導体をはじめとする部品逼迫や物流停滞など世界的なサプライチェーンの混乱に加え、素材・部品価格や輸送費の高騰など、事業活動に伴うコスト環境は急激に悪化しており、さらに、今後の新型コロナウイルスの感染動向やウクライナ情勢なども不透明な状況のなかで、当社グループは、サプライチェーンの正常化と部材のコスト高への対応といった喫緊の課題への取り組みと同時に、次期中期経営計画に向けて、従来の「中期経営計画の重点テーマ」をベースに「サステナブル経営」の推進を加速させ、「ブランディング活動強化」「真のグローバル企業への脱皮」「自発的なキャリア形成と学び」などの新たな活動や施策により「企業文化変革」を実現し、「地球環境や社会への貢献」を目指します。

### 「サステナブル経営」の加速

富士通ゼネラルグループでは 2021 年3月に当社グループの経営方針として「サステナブル経営」の基本方針を制定しました。サステナビリティの具体的な目標である「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念は「誰一人取り残さない」です。それは、現在のお客さまだけでなく、未来のお客さまや社会にもずっと寄り添うと決意した、当社グループの企業理念（Our Mission）「- 共に未来を生きる -」そのものです。サステナブル経営の推進は、中長期的観点に立ち、未来の子どもや社会

に持続可能な社会実現を約束するものであり、その加速によって当社グループの事業の成長を追求するものであると考えています。

よって「サステナブル経営」の推進は、私たちの企業理念の実践にほかなりません。当社グループは、「地球との共存」「社会への貢献」「社員との共感」をサステナブル経営の3つの柱として、取り組みを推進していきます。

2021 年度の成果としましては、「地球との共存」においては、当初の計画より早く 2022 年4月に事業活動における電力を再生可能エネルギー 100%に転換したことにより、カーボンニュートラルの前倒し達成にめどが立ってきました（達成年度を 2030 年度から 2025 年度に変更）。また、暖房用途としてのヒートポンプ機器や、一定速エアコン<sup>\*1</sup>から省エネ性が高いインバーターエアコンへの切り替えなど、いわゆるサスプロ製品<sup>\*2</sup>の販売が当初計画より大幅に拡大しており、脱炭素に向けた取り組みが加速しています。「社会への貢献」においては、地域社会との連携強化を図ることを目的に、本社近隣小学校の社会科見学受け入れ等をおこなっており、身近なことから「社会への貢献」を継続することの大切さを感じています。そして「社員との共感」においては、健康経営や自発的なキャリア意識の醸成を加速させています。

今後、さらなる「サステナブル経営」の推進加速を行うには、利益ある成長が必要であると感じています。先行きが不透明で環境変化が激しい現代において、継続的な先行投資による持続可能な成長を達成するには、一段上の利益創出、充実した財務体質の確立が不可欠です。そして、品質やガバナンス強化を前提とした事業規模の拡大と利益ある成長により、企業としてのパワーをつけ、「サステナブル経営」を実現するとともに、企業理念で目指している「世界中のお客さまと社会に」広く貢献していきます。

富士通ゼネラルグループは、新たな成長に向かって踏み出しています。どうぞ皆さまのご理解ご支援をよろしくお願いいたします。

\*1 コンプレッサーの回転数が一定なためON・OFFを繰り返すことで温度調節を行うエアコン、回転数を可変することで温度調節を行うインバーターエアコンに比べて「省エネ性」が低い。

\*2 社会課題を解決し、持続可能な社会への貢献が期待できることで、「サステナブル・プロダクト（サスプロ）」として社内認定された製品・サービス。

## 担当役員メッセージ

富士通ゼネラルグループの強みを活かし、  
「気候変動抑制への貢献」「イノベーションの創出」  
「地域社会貢献」を通して、  
皆さまと「- 共に生きる -」未来を目指します。

経営執行役

コーポレートコミュニケーション室長  
兼 サステナビリティ推進統括部長  
兼 環境統括部長

加納 俊男



富士通ゼネラルグループは、「創業以来培ってきた革新的なモノづくり力」と「グローバルな事業展開」「当社代理店や協業先とのパートナーシップ」を活かし、主力事業である空調機部門で長年培ってきたヒートポンプ技術を活用した製品で、化石燃料機器からの置き換え推進などの「気候変動抑制への貢献」を強化していきます。また現在の本業以外についても、SDGsで掲げられている社会課題の本質を熟慮し、当社グループが進めている「イノベーション創出活動」により、本業以外でも社会課題解決への貢献を目指していきます。

そして地域に根差した次世代教育など「地域社会貢献」に注力し、当社グループだからこそ実現できるサステナブルな未来へ貢献していきたいと考えています。

### 気候変動抑制貢献に向けて

#### — カーボンニュートラルに向けて —

事業活動において自らが使用する電力については、当初計画よりも3年早い2022年4月より再生可能エネルギー比率100%転換を実現しました。電力以外についても、当初予定していた2030年度達成から2025年度へと5年目標を前倒し、カーボンニュートラルに向けて積極果敢に進めていきます。また、再生可能エネルギーへの転換だけでなく、全社アカスリ運動（徹底したムダとり）を推進することで、エネルギー自体の使用量についても継続して削減していきます。

#### — サステナブル・プロダクト認定制度 —

製品・サービスについては、SDGsで掲げる社会課題解決への貢献度が高いものを社内認定する「サステナブル・プロダクト（以下、サスプロ）」制度を設け、認定製品・サービスの拡販を進めています。

「サスプロ」認定製品の例として、富士通ゼネラルグループの主力事業である空調機部門で培ったヒートポンプ技術を活かした製品を開発・販売し、化石燃料を使用する暖房機器からの置き換えが図られることにより、使用時における温室効果ガス排出量の大幅な削減が期待できます。このような製品をサスプロとして認定し、少しでも多くのお客さまに当社グループのヒートポンプ機器をお使いいただけるよう、グローバルな販売網を活かして拡販を進めていきます。

2021年度に開始したサスプロ制度ですが、2021年度のサスプロ認定製品売上高は約400億円、当社グループ売上高の約10%を占めています。新たに開発するサスプロ関連製品・サービスには重点投資を行うことで、サスプロの開発と販売を拡大し、2030年度までにサスプロ認定製品の売上高比率を、当社グループ全体の売上高の30%以上にする計画で進めています。

### イノベーションの創出で社会課題解決へ貢献

職場において心理的安全性が醸成されることが、さらなるイノベーションの創出につながると考えています。そのため、富士通ゼネラルグループでは健康経営を推進し、社員の健康増進だけでなく、その先にある「お互いが認め合い働きやすい、働きがいがある職場」そして「社員全体の意欲・総合力の向上」を目指しています。

また、BIG<sup>\*1</sup>、FIC<sup>\*2</sup>、10%ルール<sup>\*3</sup>などの制度も活用し、個として、またチームとして意見を自由に出しあえることができる場を設け、既存の当社事業に縛られることなく、SDGsで掲げる社会課題についてもイノベーションの種を見出し、育て、事業化に向けて進めています。

### 地域に根差した社会貢献を目指して

富士通ゼネラルグループは、社会貢献のうち、「次世代人材育成」「地域社会とのコミュニケーション」「地球環境保全」を重点的に取り組むことを基本方針として掲げ、取り組みを進めています。

特に「次世代教育」に注力しており、次世代を担う子どもたちに向けて、モノづくりの楽しさを社員が直接伝える出前事業を川崎本社の近隣小学校で実施し、モノづくりを未来へつなげる活動を行っています。

また今後は、さまざまな事情で貧困の負の連鎖が断ち切れず、高等教育を受ける意思があっても受けることのできない子どもたちへの支援も進めていきます。

当社グループはサステナブル経営を通じて、誰ひとり取り残さず、皆さまと「- 共に生きる -」未来を目指していきます。

\*1 Being Innovative Group の略。新しい価値を創造し、世の中に提供することを具現化するための専任グループ。

\*2 The Future of Innovation Challenge の略。個人の発想を起点に、社会課題を解決する事業を創り出しスケールさせていく、アイデア募集型の新規事業創出活動。

\*3 月の所定労働時間の最大10%までを、業務に直接的・間接的に関連する活動のために自由に使うことを認める制度。

# 目次／編集方針

## 目次

### Introduction

- 1 企業理念
- 3 TOPメッセージ
- 5 担当役員メッセージ
- 7 目次／編集方針
- 9 富士通ゼネラルグループ概要

### 富士通ゼネラルのサステナブル経営

- 13 価値創造のプロセス - イメージ図 -
- 15 価値創造のプロセス - 施策とKPI -
- 17 サステナブル経営の推進
- 35 重点取り組みテーマ

### 社会への貢献

- 39 お取引先とのかかわり
- 41 パートナーシップ
- 42 品質に対する取り組み  
ステークホルダー・エンゲージメント
- 43 外部評価・参画イニシアチブ
- 44 地域社会とのかかわり

### 社員との共感

- 49 健康意識を高め“Good Life”を目指した職場づくり
- 51 多様性を活かして社員が柔軟に働ける職場づくり

### 地球との共存

- 59 環境ビジョン
- 65 環境マネジメント
- 66 活動内容
- 69 気候変動関連の情報開示  
- TCFDに基づく開示 -

### ガバナンス

- 73 人権
- 75 コーポレートガバナンス
- 77 リスクマネジメント
- 79 企業理念
- 81 コンプライアンス

#### 将来に関する予測・予想・計画について

本報告書には、富士通ゼネラルグループの過去と現在の事実だけでなく、将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらの予測・予想・計画は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸与件の変化によって将来の事業活動の結果や事象が異なるものになる可能性があります。

読者の皆さまには以上をご承知いただきたくお願いいたします。

## 編集方針

本報告書は、富士通ゼネラルグループが持続可能な社会の実現を目指して取り組む活動について、方針・考え方や2021年度の取り組み内容・実績を報告するものです。

■ 報告対象期間 2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）  
ただし、一部はそれ以外の期間の内容も含まれます。

■ 報告対象組織 株式会社富士通ゼネラルおよびその連結子会社・持分法適用会社

■ 参考にしたガイドラインなど

- GRI「GRIスタンダード」 ● 国連グローバル・コンパクト
- 国際標準化機構「ISO26000：2010」 ● 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）による提言
- 環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」

■ 情報開示の体系

当社グループの企業活動情報は、ステークホルダーの皆さまに対しさまざまな情報を開示しています。

本報告書では、非財務情報に関する方針・取り組みを簡潔に掲載し、具体的な取り組みや結果は当社Webサイトにてご紹介しています。

	Webサイト	冊子（PDF版）
非財務情報	<p>環境 - サステナビリティ活動</p>  <p>社会 - サステナブル経営を中心に、サステナビリティへの活動を掲載しています。</p>  <p>ガバナンス</p>	<p>- サステナビリティレポート</p> <p>サステナビリティ活動のうち、特に重要と考えている取り組みについて報告・掲載しています。</p>  <p>※環境・社会データは、当社Webサイトに掲載しています。</p>  <p>- 統合報告書</p>  <p>長期的に成長し企業価値を高めるための経営戦略、業績をはじめとする財務情報に加え、重要度が高いと考えるサステナビリティ戦略を掲載しています。</p> 
財務情報	<p>- IR情報</p>  <p>投資家・株主の皆さまを対象に当社の財務情報を掲載しています。</p> 	<p>- 有価証券報告書</p> <p>- 事業報告書</p>

■ 発行 2022年9月（次回予定：2023年9月）

■ お問い合わせ先

サステナビリティ推進統括部 サステナビリティ推進部

※本報告書における表示単位未満の端数については、金額は切り捨て（ただし、億円単位で記載の金額に限り四捨五入）、各種比率は四捨五入にて表示します。

※本報告書の一部または全部を許可なく転載することを禁じます。

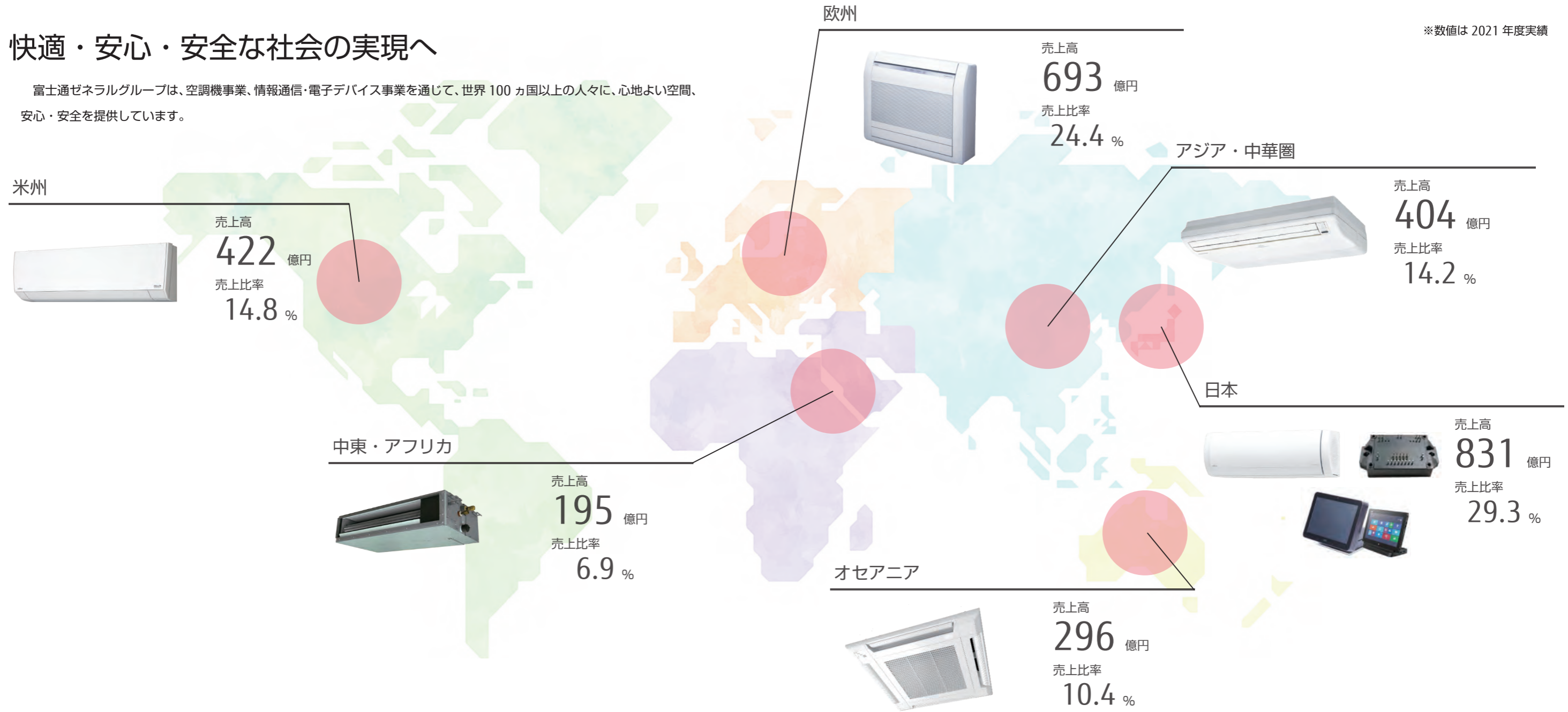
● 「ノクリア」は株式会社富士通ゼネラルの登録商標です。

# 富士通ゼネラルグループ概要

## 快適・安心・安全な社会の実現へ

富士通ゼネラルグループは、空調機事業、情報通信・電子デバイス事業を通じて、世界 100 カ国以上の人々に、心地よい空間、安心・安全を提供しています。

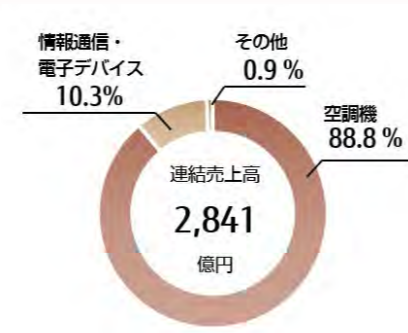
※数値は 2021 年度実績



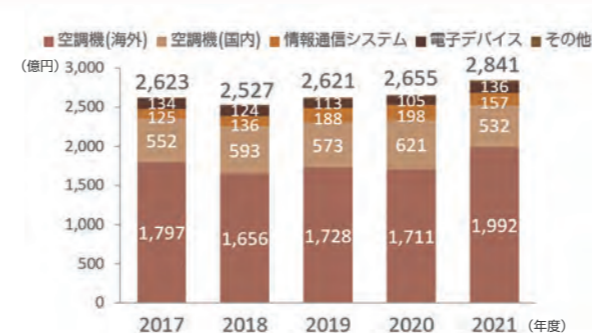
### 当社グループの事業

<p><b>空調機事業</b></p> <p>"いのちが変わる、空気をつくる" いつも"人"を包みこんでいる、"空気"という存在。 富士通ゼネラルは、快適でクリーンな"空気"を生み出す空調機器でその時代、その地域に最適な本当の"ここちよさ"を実現します。</p>	<p><b>情報通信システム事業</b></p> <p>"安心・安全の未来を共につくる" 創業期から続く通信機事業。富士通ゼネラルの情報通信システム事業は、これからも私たちの暮らす社会の未来に向けて、安心安全をお届けします。</p>	<p><b>電子デバイス事業</b></p> <p>"世界に誇る高度な技術・提案力" 緻密で精度の高い品質と信頼性をお届けします。</p>
---	--	---

### セグメント別売上高構成比率



### 売上高



### 営業利益/営業利益率



### セグメント別営業利益構成比率

